

フィオールド (Fiord) は海に注ぐ氷河の深くなり過ぎた谷の遺物であり 現在の海水面より下にある (図4—66). このため 険しい岩壁の間の陸地に入りこんだ海の細い腕のような平面形を有する. 成因から考えて当然のことながら フィオールドには懸谷にかかる瀑布を伴っているものも少なくない. また 比較的高い海面下の敷居で外海と隔てられているのが普通である. スコットランドの西海岸沿いでは このようなフィオールドの海面下にある敷居から 淡水湖と海とを隔てている多かれ少なかれ露出した障害物に至る いろいろな移り変わりが見られる.

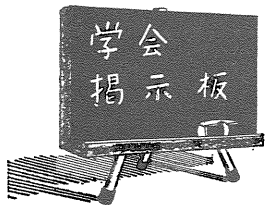
フィオールドは たとえばスコットランド ノルウェー グリーンランド ラブラドル ブリディッシュ・コロンビア アラスカ パタゴニア およびニュージーランドのようなどころにある海岸の台地や適当な構造の山脈が 激しい氷河に見舞われた時に その原形が作られたものである. 平面図 (図4—67) で見ると 一般にそれらは弱い構造のベルトの分布によってきまった矩形のパターンをもっている. 少数の例外はあるが それらの大部分は節理のよく発達した あるいは断層帯に沿ってうち砕かれた岩石のベルトである. そのため 氷

河の過深食が非常な深部まで及び ノルウェーおよびパタゴニアのフィオールドには 深度が4,000フィートを超えるものも知られている.

以上は 氷河による侵食作用とその結果である氷食地形についてややくわしく述べたが それは その知識がわが国で第四紀の地史を研究する上に不可欠であり かつ 日本アルプスや日高山地などにおいて この分野に関する立派な研究がすでに行なわれているからである. この研究を推進する上に先駆的な役割りを果たしたのが今村学郎 (1940) であり 戦後それにいわゆる層位的な手法を導入して自らも研究し かつ指導的な役割りを果たしたのが 小林国夫 (1955) および 湊正雄 (1954 1970) である. 彼等の業績のエッセンスともいべきものは 比較的入手しやすい単行本にまとめられているので この際 次の3著だけはぜひ読んでおかれることをおすすめする.

- 今村学郎 1940 日本アルプスと氷期の氷河:古今書院
 小林国夫 1955 日本アルプスの自然:築地書館
 湊正雄 1970 氷河時代の世界:築地書館

(筆者は 燃料部)



・日本地球化学会

1. 昭和47年9月11日 (月)~13日(水)
2. 地球化学討論会
 - ① 有機地球化学の分析化学的諸問題
 - ② 親銅元素の沈殿過程 および一般討論・発表
3. 宮城教育大学 (仙台市荒巻字青葉)
4. 日本地球化学会・日本化学会共催
5. 東京都杉並区高円寺北4—35—8 気象研究所地球化学部内

日本地球化学会事務局 ☎ (03) 337—1111 内線75

・日本化学会

1. 昭和47年10月11日(水)~14日(土)
2. 第27秋季年会 (含連合討論会)
化学関係学協会連合研究発表会合同大会
3. 中京大学 (名古屋昭和区八事本町101—2)
4. 日本化学会ほか
5. 東京千代田区神田駿河台1—5
日本化学会 ☎ (03) 292—6161

・24th International Geological Congress

1. 昭和47年8月21日(月)~9月1日(金)
2. 第24回万国地質学会会議
3. モントリオール (カナダ)
4. 万国地質学会議組織委員会
5. J. E. Armstrong, Secr. General, 601 Booth Street, Ottawa 4, Canada

・日本分光学会

1. 昭和47年8月7日(月)~10日(木)
2. 第8回分光分析用光源に関する夏期セミナー
3. 長野県大町市平区扇沢
扇沢ロッジ ☎ (02612) 2—2527
(国鉄大糸線大町下車扇沢行バス40分)
4. 日本分光学会
5. 東京都新宿区百人町3—22—17
東京教育大学光学研究所内
日本分光学会 ☎ (03) 362—7881

・日本分光学会

1. 昭和47年11月25日(土)~26日(日)
2. 昭和47年度秋季講演会・発光部会シポジウム
3. 京都大学楽友会館 (京都市左京区東山通近衛通東人ル)
4. 日本分光学会
5. 東京都新宿区百人町3—22—17
東京教育大学光学研究所内
社団法人 日本分光学会 ☎ (03) 362—7881

・地すべり学会

1. 昭和47年10月19日(木)~20日(金)
2. 地すべりと対策に関する研究討論会 (国際シンポジウム)
3. 国立京都国際会館 大会議場
京都市左京区宝ヶ池 ☎ (075) 791—3111
4. 地すべり学会 全国地すべり対策協議会
5. 長野市大字南長野字幅下629—2
長野県土木部砂防課内
地すべりと対策に関する研究討論会
☎ (0262) 32—0111 内線 672

[注] 1. 開催年月 2. 会合名 3. 会場 4. 主催者
5. 連絡先 (掲載順位は原稿到着順)